

# 森のひろば

このコーナーでは、皆さんからの投稿を掲載します。身の回りの程度でお寄せください。みなさんからの投稿をお待ちしています。

出来事、エッセイ（体験談等）、お知らせや募集など200字写真は撮りに伺いますのでまずはご連絡ください。

村の頑張る若者を紹介するコーナーです。

やんぐ  
voice

志賀 泰裕さん（下田尻）

泰次さん、ちえみさん長男



■自己紹介を！

志賀泰裕です。高校卒業後、航空自衛隊に入り、楽しく頑張っております。メリハリをもってやることをモットーに仕事に励んでいます。今年、成人式を迎え同級生に会えました。

■自分の中で自慢できることは？

自慢できるようなことは何もありません。が、何か自慢できるような事を探して頑張っていきたいと思えます。

■休日の過ごし方は？

基地内に住んでいるので、外周を走ったり、友人とわいわいしたりしています。

■村の誰かへ一言

村のみなさんへ  
ありがとうございました。

■産山を離れて感じることは？

社会に出て一番感じたのが、すべては自分の責任になってくる事です。自分のことは自分で責任をとるということが大事と云うことを学びました。



## 全国食生活改善大会に参加して

●食育推進協議会長 井 絹子

去る10月29日全国食生活改善推進団体リーダー中央研修会がホテルキャッスルで開催され産山村食育推進協議会からも3名出席いたしました。30日は全国食生活改善推進員団体連絡協議会が行われ、高円宮さまや蒲島知事を迎え、全国から一八〇〇名の参加で大盛況でした。産山からも推進員15名参加しこの組織の規模の大きさ・役割の重要性に驚きました。厚生労働省からの委託事業もたくさん請け負ってその活動を担っていることも実感いたしました。全国協議会会長の松谷さん

から「推進委員は日本の食生活を支える根」、蒲島知事からは「長寿を恐れない国を目指し活動しよう」と挨拶がありました。宮様のお言葉では「私達の健康は私達の手で」を合言葉に国民のすべてが健康な生活習慣を身に付けるよう活動する推進員の皆さまに對し心より敬意を表しますと述べられました。特別講演では落語家桂米介さんが「健康は災いから」と話されました。

「健康は笑いから」「食べる事は生きる事」は大切な事だと思います。私達産山村食育推進協議会でも、「健康は私達の手で！」をモットーに頑張っております。健康を願う気持ちは皆同じだと思います。全国の各地域の素晴らしい活動を参考に、また「食」を通しての健康づくりのお手伝いをしていこうと思いを新たにしました。食育で勉強されたいと思われる方、一緒に活動して見たいと思われる方はいつでも声をかけてください。心よりお待ちしております。

## 阿蘇地域が日本ジオパークに認定！

～世界ジオパーク認定を目指す、大きな一歩～

10月28日、日本ジオパーク委員会が開かれ、阿蘇地域（阿蘇市及び山都町）が日本ジオパークに認定されました。今年認定を受けたのは、阿蘇地域ほか、天草御所浦、隠岐、恐竜渓谷ふくい勝山です。

ジオパークとは、地質学的に重要な地層・地形など、地質遺産を含む自然公園で、これらを保護しながら、自然と人間とのかかわりを理解する場所として、自然公園としての質が高いことが保証され、国内はもとより世界的な知名度が上がります。また、保護、研究が盛んに行われ、次代につなぐため必要な保護活動が展開できます。

阿蘇地域の最終目的は、世界ジオパーク認定ですが、日本が認めた今回の件は大きな一歩と言えます。これまでの経緯として、平成20年5月7日、熊本県阿蘇地域振興局長はじめ阿蘇郡市の市長村長、観光・自然活動関係団体長など28人が加盟し、「阿蘇ジオパーク推進委員会」（会長：佐藤義興阿蘇市長）を発足。現地視察や勉強会を行い、その結果を日本ジオパーク委員会に提出。今回の認定に至ったものです。

今後は、九州新幹線鹿児島ルートが全線開業する平成23年に世界ジオパークネットワーク（GGN）の世界的ブランドを獲得できるように取り組みを進める予定です。



産山村 池山水源



中央火口丘



山鹿  
佐藤ヨシ子

ささやかな  
暮らしの中に  
歌作る  
言葉の一つ  
拾わんとして



静かなる  
秋雨にぬれ  
ドーランの  
垣根真紅に  
朝の眼奪う



湯の宿の  
湯煙濡らす  
小糖雨  
山の裾野に  
夕凍深む  
御湯船  
関野 侃作

## 文藝のひろば